

## 平成 28 年度図書館情報学海外研修助成報告書（抜粋版）

図書館情報メディア研究科 博士前期課程 1 年

201621615 篠崎 貴徳

研究テーマ：タイ北部地域におけるコミュニティ学習センターの役割：チェンライ県を対象として

研修期間：平成 28 年 9 月 19 日～10 月 2 日（14 日間）

目的地：タイ王国バンコク都およびチェンライ県

主な訪問先：国際交流基金バンコク日本文化センター図書館、さくら寮、Chiang saen Princess Sirindhorn Library、Wat Phrathat Pha-ngao Community Learning Centre

### 1. 研修目的

私は現在、タイのコミュニティ学習センター（Community Learning Centres、以下 CLC）という施設が地域や地域住民に果たす役割を、図書館機能の分析を含めた視点から研究している。CLC とは、地域開発および人々の生活の質向上のための様々な学習機会を提供するノンフォーマル教育施設であり、地域住民を対象に識字教育や職業訓練を実施している。タイではノンフォーマル教育に関する法整備も進められており、2011 年時点で全国に 9,439 もの CLC が存在するとされている。また、CLC で実施される教育は、初等教育から後期中等教育までの公教育を受けたことと同等の資格を得ることが可能なものも存在する。その中でも今回は北部地域に設置されている CLC を訪問し、CLC のもつ図書館機能を中心に、その役割について明らかにするため、CLC の職員や利用者インタビュー調査を行った。

### 2. 研修内容

2016 年 9 月 19 日から 21 日の 3 日間はバンコクにおいて、9 月 22 日から 10 月 1 日の 10 日間はチェンライ県においてそれぞれ訪問調査を行った。バンコクでは、タイの書店や国際交流基金バンコク日本文化センター図書館、コミュニティライブラリを訪問し、現地の出版状況や読書環境について把握した。チェンライ県では、10 の CLC を訪れて図書館を含む実際の施設の様子を観察し、CLC の職員（7 名）や利用者（9 名）に対してインタビュー調査を実施した。ここではチェンライ県の 2 つの CLC を取り上げて紹介する。

#### 2.1. Chiang saen Princess Sirindhorn Library

Chiang saen Princess Sirindhorn Library は、1987 年にチェンセーン郡に設置された CLC である。私が訪問する 8 か月前に新築されたばかりであるということから、内装は新しく、書架や PC などの設備も管理が行き届いているようであった。施設の名前に

Library とあるが、現地のチェンライ県ノンフォーマル及びインフォーマル教育局のインフォーマント（情報提供者）の方より、CLC として紹介していただいた。その名の通り、識字教育を行う CLC であるというよりも、図書館機能を中心とした施設となっている。

1 日の利用者は 20 名程度であり、休日は親子連れの利用者が多いとのことである。半分が児童スペースであり、絵本以外にも子どものための遊び道具が充実しており、訪問中は一般書架で親が新聞や雑誌を読んでいる間、子どもは児童スペースで遊ばせるという光景を何度か目にした。一般書スペースには、新聞やファッション系雑誌が並べられているほか、小説などの図書が多かった。さらに、自主学習のスペースとして用いている高校生もおり、コミュニティライブラリのような規模ながらも、各利用者が自分たちの思い通りに施設を利用している様子であった。



図 1. 児童スペース



図 2. 一般書スペース

## 2.2. Wat Phrathat Pha-ngao Community Learning Centre

Wat Phrathat Pha-ngao Community Learning Centre は、寺院内に設置されている CLC である。1976 年に設置され、運営費は住民から寺院への寄付によって賄われているそうである。CLC 内には授業を行う教室、図書館、コンピュータ室が併設されている。図書館にはカウンターが設置されており、普段は図書館職員 1 名が常駐しているという。

図書館は 1 日の利用者は 5 名程度であり、基本的に祝日以外は開館しているそうである。蔵書は CLC 内の授業で扱う内容を補助する教材が中心であり、政治や生物に関する図書などそのジャンルは多岐に渡る。インタビュー調査において、以前この CLC で授業を受けていた利用者に話を伺ったが、授業の後に何度も立ち寄り、自主学習のために役立っていたとのことであった。

## 3. おわりに

本研修では、CLC において授業を行っている教師や現在授業を受けている利用者の両者に対してインタビュー調査を行うことができた。今後はこれらを整理し、CLC の果たす役割について多面的に明らかにする予定である。